

▶ 神浩平さんの講演会



1/24
(土)

青少年育成伯耆町民大会

青少年の健全育成のため、学校・家庭・地域での取り組みが一層充実することを目的に、青少年育成伯耆町民大会が1月24日(土)、農村環境改善センターにて開催されました。

当日は、神浩平さん(東北大学応用認知神経科学センター助教)を講師に招き、「スマホ世代の子どもたち、成長期の脳の発達は大丈夫?」の講演会が行われました。講演では、スマートフォン利用が子どもたちの脳の発達や生活習慣に与える影響について分かりやすく解説され、参加者は家庭や地域での子どもとの関わり方について改めて考える機会となりました。

▶ 画面に集中して太鼓を叩く参加者



1/24
(土)

eスポーツ体験交流大会

町民運動会の代替イベントとしてeスポーツ体験交流大会が1月24日(土)、二部公民館にて行われました。

この交流会は、地域住民同士が交流を深めることを目的に開催され、参加者は人気ゲーム「太鼓の達人」を体験しました。当日は約30人の住民が参加し、会場では終始歓声や笑顔があふれるひとときとなりました。会場内にはカフェコーナーも設置されており、飲み物を楽しみながら参加者同士が会話を交わすなど、くつろいだ交流の場ともなりました。

▶ 和やかな雰囲気です話し合う参加者



2/3
(火)

溝口中学校 CHA3プログラム

働き方や生き方などのテーマに沿って自由に話し合うCHA3(チャチャチャ)プログラムが2月3日(火)、溝口公民館で行われました。

このプログラムは、中学生の将来の目標づくりやふるさとへの愛着心を育むことを目的に毎年実施され、溝口中学校2年生や日本海情報ビジネスの学生、地域の大人など約50人が参加しました。参加者は「これだけは譲れないこと」「感謝したいこと」などのテーマをもとに、自分の経験や考えをグループ内で話し合いました。中学生にとって、自分の将来やふるさととの大切さについて考える貴重な機会となりました。

▶ 代執行による除去を宣言



1/26
(月)

町内初の略式代執行による 空き家解体

略式代執行による空き家の解体が1月26日(月)、坂長にて行われました。

略式代執行とは、倒壊の危険があるが所有者が不明・不在で連絡がつかない空き家に対し、町が「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、緊急的に解体撤去を行うものです。

空き家周辺では瓦が落下するなど危険な状況が発生していましたが、このたびの解体撤去では、住居と建物合わせて4棟を解体することで、周辺住民の安全を確保することができました。